

## 令和4年度 岐阜県立飛騨高山高等学校 全日制 アンケート結果

### 保護者及び学校評議員（7月実施）

各項目について、A～Eの該当する覧に○印をつけてください。

- A よくあてはまる
- B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E わからない

| 対象数 | 回収数 | 回収率 |
|-----|-----|-----|
| 299 | 274 | 92% |

※ABを肯定的評価、CDを否定的評価とする。番号は、本年度の質問項目の番号である。

#### <肯定的評価ABの上位項目>

| 番号 | 項 目  | 本年度 | 昨年度 |
|----|--|-----|-----|
| 11 | 一斉配信メールサービスは有効に活用されている。  | 97% | 98% |
| 28 | 学校は、外部講師の講演や様々な体験活動等の授業以外の学習機会及び学校行事の有無、又はその実施方法等について、生徒の安全を最優先とし、新型コロナウイルス感染症対策を講じて適切に計画している。 | 97% | 81% |
| 14 | 学校を訪問したり、電話したりしたときの教職員の対応（明るい挨拶や丁寧な話し方）が適切である。   | 96% | 91% |
| 7  | 学校は、保護者（地域）が授業や学校行事等を参観する機会等の有無、又はその実施方法等について、新型コロナウイルス感染症対策を最優先にして、適切に計画している。                 | 96% | 94% |
| 1  | 学校の教育方針である「『快活』『友愛』『創造』を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と『生きる力』を備えた生徒の育成を目指す」に共感できる。                    | 94% | 90% |

・本年度、肯定的評価が80%を超えた項目は、37項目中34項目であり全体の92%を占めた。コロナ禍ではあるが本校の教育活動は保護者からみて肯定的に捉えられている。

#### <否定的評価CDの上位項目>

| 番号 | 項 目   | 本年度 | 昨年度 |
|----|---|-----|-----|
| 34 | 子どもは、インターンシップ（職場体験）や進路に関する学習等を意欲的に行い、主体的に進路について考えている。 | 14% | 13% |
| 6  | 学校からの文書等は、保護者（地域）に確実に届けられている。                         | 11% | 14% |
| 5  | 学校の教育方針や指導の内容を保護者（地域）に分かりやすく伝えている。                    | 10% | 13% |

・インターンシップについては昨年度と同様に今年度も実施予定である。状況を見ながらではあるが、今後は徐々に外部機関と連携した行事も実施する予定である。

#### <否定的評価上位項目>には入らなかったが、肯定的評価ABの比較的低い（80%未満の）項目

|    | 項 目                                  | 本年度 | 昨年度 |
|----|--------------------------------------|-----|-----|
| 18 | 学校の教職員は、働き方改革に努めている。                 | 71% | 52% |
| 31 | 学校は、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。 | 76% | 56% |

・昨年度この項目には4項目上がっていたが今年度は2項目だけにとどまった。昨年度に比べて大幅に否定的評価が減少した。  
 ・18、31については、選択肢Eの「わからない」の割合がそれぞれ25%、17%と突出して多く、保護者が評価するには難しい項目であった影響が大きいと考えられる。